

赤字:修正、削除

青字:要約、記載場所の移動

緑字:用語集へ記載

【修正文対比表】新たな振興計画（中間とりまとめ）

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>1 (4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展</p> <p>文化とは、一般的には、それぞれの社会で共有される行動様式や思考様式あるいは精神活動の総体を指します。文化はその多様で異質な価値観を通じて、効用や生活の質を規定するものであり、同じ「モノ」を消費しても文化の違いを通じて効用が異なります。古の人々は自然に畏敬の念を払い、人間が立ち入れない聖域を創り、自然の中で人は生かされるという文化を持っています。</p> <p>また、沖縄文化は、自然に畏敬の念を払い、先祖を敬い、他者の痛みに寄り添う伝統文化です。先祖を敬うことは古きを温めて新たな価値を見いだすことにつながり、他者の痛みに寄り添うことはSDGs の「誰一人取り残さない」という理念と一致します。</p> <p>本基本施策の展開においては、本県の地理的特性や歴史過程を経て醸成された独自の伝統文化の継承とともに、多様性と普遍性が共存する新たな文化芸術が創造され、多様な担い手が活躍できる様々な機会及び場が創出されることで、県民の喜びや誇りとし、世界を魅了する沖縄文化の更なる発展を目指します。</p> <p>文化・芸術活動の担い手が沖縄の多様な文化を継承し、また、県民等が文化・芸術に触れる機会を増や</p>	<p>1 (4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展</p> <p>文化・芸術活動の担い手が沖縄の多様な文化を継承し、また、県民等が文化・芸術に触れる機会を増や</p>	<p>1 (4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展</p> <p>文化とは、一般的には、それぞれの社会で共有される行動様式や思考様式あるいは精神活動の総体を指します。文化はその多様で異質な価値観を通じて、効用や生活の質を規定するものであり、同じ「モノ」を消費しても文化の違いを通じて効用が異なります。古の人々は自然に畏敬の念を払い、人間が立ち入れない聖域を創り、自然の中で人は生かされるという文化を持っています。</p> <p>また、沖縄文化は、自然に畏敬の念を払い、先祖を敬い、他者の痛みに寄り添う伝統文化です。先祖を敬うことは古きを温めて新たな価値を見いだすことにつながり、他者の痛みに寄り添うことはSDGs の「誰一人取り残さない」という理念と一致します。</p> <p>本基本施策の展開においては、本県の地理的特性や歴史過程を経て醸成された独自の伝統文化の継承とともに、多様性と普遍性が共存する新たな文化芸術が創造され、多様な担い手が活躍できる様々な機会及び場が創出されることで、県民の喜びや誇りとし、世界を魅了する沖縄文化の更なる発展を目指します。</p> <p>文化・芸術活動の担い手が沖縄の多様な文化を継承し、また、県民等が文化・芸術に触れる機会を増や</p>

<p>すこと等により、沖縄文化の継承・創造と更なる発展を支える環境を拡充することが課題です。</p> <p>このため、沖縄文化の継承・発展・普及、文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり、沖縄空手の保存・継承・発展及び伝統工芸の振興に取り組みます。</p>	<p>すこと等により、沖縄文化の継承・創造と更なる発展を支える環境を拡充することが課題です。</p> <p>このため、沖縄文化の継承・発展・普及、文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり、沖縄空手の保存・継承・発展及び伝統工芸の振興に取り組みます。</p>	<p>すこと等、沖縄文化の継承・創造と更なる発展を支える環境を拡充することが課題です。</p> <p>このため、沖縄文化の継承・発展・普及、文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり、沖縄空手の保存・継承・発展及び伝統工芸の振興に取り組みます。</p>
---	---	--

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>ア 沖縄文化の継承・発展・普及</p> <p>琉球王国時代より培われてきた伝統文化、県内各地の伝統行事及び歴史を継承し、沖縄文化を更に発展させていくため、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進</p> <p>言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとぅばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとぅばの保存及び継承に取り組みます。また、しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。</p> <p>さらに、小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとぅばの普及に取り組むとともに、各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組みます。</p> <p>② 伝統芸能の継承・発展</p> <p>組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。</p>		<p>ア 沖縄文化の継承・発展・普及</p> <p>琉球王国時代より培われてきた伝統文化、県内各地の伝統行事及び歴史を継承し、沖縄文化を更に発展させていくため、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進</p> <p>言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとぅばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとぅばの保存及び継承に取り組みます。また、しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。</p> <p>さらに、小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとぅばの普及に取り組むとともに、各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組みます。</p> <p>② 伝統芸能の継承・発展</p> <p>組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。</p>

また、各地域の伝統芸能の担い手となる若手実演家等の公演機会の充実を図り、本県の伝統芸能の世代継承に取り組みます。

③ 伝統文化の保存・継承・発展

地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。

本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的食文化については、琉球料理传承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承に取り組みます。

また、地域に残る伝統行事等の民俗文化財の調査や映像・文書記録作成等に係る関係機関への支援を通して、伝統文化の保存と継承に取り組みます。

④ 文化財の保存・活用

沖縄の先人たちの英知が刻まれた貴重な文化財の適切な保護と保全状態を考慮した効果的な利活用に取り組みます。

無形文化財については、保存会等が行う取組への支援や映像資料・報告書等の記録保存に取り組みます。

また、文化財の新たな指定に向けた調査、米軍基地内を含む埋蔵文化財の各種調査・保全、在外文化財

③ 伝統文化の保存・継承・発展

地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。

また、各地域の伝統芸能の担い手となる若手実演家等の公演機会の充実を図り、本県の伝統芸能の世代継承に取り組みます。

③ 伝統文化の保存・継承・発展

地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。

本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的食文化については、琉球料理传承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承に取り組みます。

また、地域に残る伝統行事等の民俗文化財の調査や映像・文書記録作成等に係る関係機関への支援を通して、伝統文化の保存と継承に取り組みます。

④ 文化財の保存・活用

沖縄の先人たちの英知が刻まれた貴重な文化財の適切な保護と保全状態を考慮した効果的な利活用に取り組みます。

無形文化財については、保存会等が行う取組への支援や映像資料・報告書等の記録保存に取り組みます。

また、文化財の新たな指定に向けた調査、米軍基地内を含む埋蔵文化財の各種調査・保全、在外文化財

の調査、戦災文化財の復元等を進め、貴重な文化遺産の後世への継承に取り組みます。

⑤ 歴史資料の保存・編集・活用

沖縄に関する歴史認識・文化意識をより一層深めるため、歴史に関する調査研究、資料収集を行い、ウェブ等を利用して県民等が効果的に資料の活用ができるよう取り組むほか、本県の自然・歴史・文化を網羅した体系的な歴史書「新沖縄県史」及び琉球王国時代の外交文書集「歴代宝案」の編集刊行に取り組みます。

また、琉球政府関係文書の貴重な資料を適切に保存し広く県民等の利用に供するため、資料の修復やデジタル化を進め、ウェブ上で閲覧できるデジタル・アーカイブ化及び資料の調査・収集に取り組みます。あわせて、米国国立公文書館に所蔵されている資料や映像の収集・公開など、沖縄戦及び戦後統治下の記録収集に取り組みます。

の調査、戦災文化財の復元等を進め、貴重な文化遺産の後世への継承に取り組みます。

⑤ 歴史資料の保存・編集・活用

沖縄に関する歴史認識・文化意識をより一層深めるため、歴史に関する調査研究、資料収集を行い、ウェブ等を利用して県民等が効果的に資料の活用ができるよう取り組むほか、本県の自然・歴史・文化を網羅した体系的な歴史書「新沖縄県史」及び琉球王国時代の外交文書集「歴代宝案」の編集刊行に取り組みます。

また、琉球政府関係文書の貴重な資料を適切に保存し広く県民等の利用に供するため、資料の修復やデジタル化を進め、ウェブ上で閲覧できるデジタル・アーカイブ化及び資料の調査・収集に取り組みます。あわせて、米国国立公文書館に所蔵されている資料や映像の収集・公開など、沖縄戦及び戦後統治下の記録収集に取り組みます。

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>イ 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり</p> <p>沖縄の伝統文化を担う継承者の育成や文化芸術団体を支援するとともに、文化資源を活用した魅力的な地域づくりを図るため、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 創造的・文化的な芸術の発展を担う人材の育成</p> <p>文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出促進に取り組むとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を充実させます。</p> <p>② 県民等の文化芸術活動の充実</p> <p>高齢者や障害者、青少年を含め、広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。</p> <p>また、中学校・高等学校の総合文化祭への支援や中学校・高等学校生徒の派遣費支援のほか、こころの芸</p>	<p>イ 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり</p> <p>沖縄の伝統文化を担う継承者の育成や文化芸術団体を支援するとともに、文化資源を活用した魅力的な地域づくりを図るため、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 創造的・文化的な芸術の発展を担う人材の育成</p> <p>文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出促進に取り組むとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を充実させます推進します。</p> <p>② 県民等の文化芸術活動の充実</p> <p>高齢者や障害者、青少年を含め、広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。</p> <p>また、中学校・高等学校の総合文化祭への支援や中学校・高等学校生徒の派遣費支援のほか、こころの芸</p>	<p>イ 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり</p> <p>沖縄の伝統文化を担う継承者の育成や文化芸術団体を支援するとともに、文化資源を活用した魅力的な地域づくりを図るため、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 創造的・文化的な芸術の発展を担う人材の育成</p> <p>文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出促進に取り組むとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を推進します。</p> <p>② 県民等の文化芸術活動の充実</p> <p>高齢者や障害者、青少年を含め、広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。</p> <p>また、中学校・高等学校の総合文化祭への支援や中学校・高等学校生徒の派遣費支援のほか、こころの芸</p>

術・文化フェスティバル、身体障害者福祉展等の開催を通して、青少年や障害者等の文化活動の活性化に取り組みます。

さらに、2022年に開催予定の「美ら島おきなわ文化祭2022」の成功に向けて、市町村、関係機関、県民等一丸となって取り組みます。

③ 文化資源を活用した地域づくり

地域の歴史、伝統的風習、伝統行事等に対する住民の愛着心を醸成し、地域外との交流を通じた地域文化の掘り起こしに加え、県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信に取り組みます。

あわせて、地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりを展開します。

また、文化関係団体や企業の文化芸術活動に対する支援を促進し、社会全体で文化芸術活動を支える仕組みの充実に取り組みます。

④ 文化芸術活動を支える基盤の強化

「国立劇場おきなわ」や「沖縄県立博物館・美術館」、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用し、文化芸術活動の場の創出と文化発信交流拠点の充実に取り組みます。加えて、NPO、文化ボランティア活動、企業等の芸術文化支援を促進するなど、社会全体で文化活動を支える環境づくりに取り組みます。

③ 文化資源を活用した地域づくり

地域の歴史、伝統的風習、伝統行事等に対する住民の愛着心を醸成し、地域外との交流を通じた地域文化の掘り起こしに加え、県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信に取り組みます。

~~あわせて~~また、地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりを**展開しますに資する取組を推進します**。

~~またあわせて~~、文化関係団体や企業の文化芸術活動に対する支援を促進し、社会全体で文化芸術活動を支える仕組みの充実に取り組みます。

④ 文化芸術活動を支える基盤の強化

「国立劇場おきなわ」や「沖縄県立博物館・美術館」、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用し、~~た~~文化芸術活動の場の創出と、文化発信交流拠点の充実に取り組みます。加えて、NPO、文化ボランティア活動、企業等の芸術文化支援を促進するなど、社会全体で文化活動を支える環境づくりに取り組みます。

芸術・文化フェスティバル、身体障害者福祉展等の開催を通して、青少年や障害者等の文化活動の活性化に取り組みます。

さらに、2022年に開催予定の「美ら島おきなわ文化祭2022」の成功に向けて、市町村、関係機関、県民等一丸となって取り組みます。

③ 文化資源を活用した地域づくり

地域の歴史、伝統的風習、伝統行事等に対する住民の愛着心を醸成し、地域外との交流を通じた地域文化の掘り起こしに加え、県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信に取り組みます。

~~また~~、地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに**資する取組を推進します**。

~~あわせて~~、文化関係団体や企業の文化芸術活動に対する支援を促進し、社会全体で文化芸術活動を支える仕組みの充実に取り組みます。

④ 文化芸術活動を支える基盤の強化

「国立劇場おきなわ」や「沖縄県立博物館・美術館」、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用し、~~た~~文化芸術活動の場の創出と、文化発信交流拠点の充実に取り組みます。加えて、NPO、文化ボランティア活動、企業等の芸術文化支援を促進するなど、社会全体で文化活動を支える環境づくりに取り組みます。

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>ウ 沖縄空手の保存・継承・発展</p> <p>沖縄空手を次世代へ継承するとともに、「空手発祥の地・沖縄」を世界に向けて発信し、「空手の聖地・沖縄」を確立するため、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 沖縄空手の指導者及び後継者の育成</p> <p>沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化を図り、次世代を担う指導者及び後継者の育成並びに県民が沖縄空手に接する機会の創出等に取り組みます。</p> <p>また、継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組みます。</p> <p>さらに、競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組みます。</p> <p>② 沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信</p> <p>博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及など博物館法に規定される諸活動の推</p>		<p>ウ 沖縄空手の保存・継承・発展</p> <p>沖縄空手を次世代へ継承するとともに、「空手発祥の地・沖縄」を世界に向けて発信し、「空手の聖地・沖縄」を確立するため、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 沖縄空手の指導者及び後継者の育成</p> <p>沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化を図り、次世代を担う指導者及び後継者の育成並びに県民が沖縄空手に接する機会の創出等に取り組みます。</p> <p>また、継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組みます。</p> <p>さらに、競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組みます。</p> <p>② 沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信</p> <p>博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及など博物館法に規定される諸活動の推</p>

進により、学術研究の深化・発信に取り組むとともに、沖縄空手会館を拠点に官民あげて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組めます。

また、沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組めます。

さらに、沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等により魅力発信に取り組めます。

③ 沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流

世界に1億3千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通じた国際交流の活性化に取り組めます。

また、世界各地への指導者の派遣や海外の空手関係団体等との連携を通して、沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築に取り組めます。

さらに、「空手の日」や「世界のウチナーンチュ大会」等のイベントを活用して空手演武のギネス記録更新に取り組むほか、来沖した海外空手家と県内児童生徒の

進により、学術研究の深化・発信に取り組むとともに、沖縄空手会館を拠点に官民あげて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組めます。

また、沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組めます。

さらに、沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等により魅力発信に取り組めます。

③ 沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流

世界に1億3千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通じた国際交流の活性化に取り組めます。

また、世界各地への指導者の派遣や海外の空手関係団体等との連携を通して、沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築に取り組めます。

さらに、「空手の日」や「世界のウチナーンチュ大会」等のイベントを活用して空手演武のギネス記録更新に取り組むほか、来沖した海外空手家と県内児童生徒の

交流の場を創出するなど、沖縄空手を通じた国際交流に取り組みます。

④ ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進

先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に関係機関や団体と協働して取り組みます。

さらに、沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。

エ 伝統工芸の振興

※商工労働部所管のため、以下省略。

交流の場を創出するなど、沖縄空手を通じた国際交流に取り組みます。

④ ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進

先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に関係機関や団体と協働して取り組みます。

さらに、沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。

エ 伝統工芸の振興

※商工労働部所管のため、以下省略。

赤字:修正、削除

青字:要約、記載場所の移動

緑字:用語集へ記載

【修正文対比表】新たな振興計画（中間とりまとめ）

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>3 (2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大前の国連世界観光機関(UNWTO)による将来見通しでは、2030年の海外旅行者数は18億人と見込まれ、アジアや中南米、中欧・東欧、東地中海地域、中東、アフリカといった新興国のシェアは、1980年の30%から2030年には57%になると予測されていました。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界的に観光産業は影響を受けており、本県においても入域観光客数が大幅に減少するなど、多大な影響を受けています。</p> <p>本県経済の回復を図るためには、リーディング産業である観光産業の回復と更なる発展が必要であることから、感染状況に応じた防疫体制の充実強化とともに、人材の育成と確保を含む観光インフラの整備が求められています。</p> <p>本県への入域観光客については、感染症の収束後を見据えた交通手段、空港・港湾、陸上交通等の社会基盤のスケールや機能など供給面の対応が必要です。従来、公共部門を中心に整備が進められてきた社会基盤の整備に関して、今後は官民連携の下での整備促進が重要です。このため、今後の公共部門において</p>	<p>3 (2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大前の国連世界観光機関(UNWTO)による将来見通しでは、2030年の海外旅行者数は18億人と見込まれ、アジアや中南米、中欧・東欧、東地中海地域、中東、アフリカといった新興国のシェアは、1980年の30%から2030年には57%になると予測されていました。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界的に観光産業は影響を受けており、本県においても入域観光客数が大幅に減少するなど、多大な影響を受けています。</p> <p>本県経済の回復を図るためには、リーディング産業である観光産業の回復と更なる発展が必要であることから、感染状況に応じた防疫体制の充実強化とともに、人材の育成と確保を含む観光インフラの整備が求められています。(統合:右記のとおり内容を要約)</p> <p>本県への入域観光客については、感染症の収束後を見据えた交通手段、空港・港湾、陸上交通等の社会基盤のスケールや機能など供給面の対応が必要です。従来、公共部門を中心に整備が進められてきた社会基盤の整備に関して、今後は官民連携の下での整備促進が重要です。このため、今後の公共部門において</p>	<p>3 (2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大前の国連世界観光機関(UNWTO)による将来見通しでは、2030年の海外旅行者数は18億人と見込まれており、東アジアの中心に位置する本県が、観光の玄関口としてその地理的優位性を最大限に発揮することにより、沖縄観光の更なる発展につながると期待されていました。</p> <p>しかし、同感染症の拡大により、世界的に観光産業は多大な影響を受け、本県においても、入域観光客数の大幅な減少など、観光産業への影響はもとより経済全体で大きな打撃を受けています。</p> <p>このため、本県経済の回復を図るため、リーディング産業である観光産業の回復と更なる発展が必要です。</p>

は、民間部門の誘導・補完も本県の役割の一つに挙げられます。

今後の空・海・陸の交通網や MICE*10 施設等の社会基盤整備に向けては、土地利用計画の見直しや、補助金、税制優遇措置など企業・団体への支援を行うとともに、適切な市場分析の下での情報発信等により、民間の活動を誘導・誘発することが重要です。一方、これらに併せて環境等の規制や新たな課税制度等についても検討することで、持続可能な観光地を目指す必要があります。

持続可能な観光の推進に向けて、地元住民の意向や観光消費の地域還元性、環境容量等に関する指標の精査や活用について、さらに検討を進める必要があります。その際、社会・文化、経済、環境を含めた総合的な指標を整備することにより、バランスの取れた検証可能な計画を具体化し、持続可能な沖縄観光の基盤とすることが重要です。

本基本施策の展開においては、観光は最も平和な産業であるという理念の下、沖縄経済を牽引するリーディング産業として、感染症等の多様なリスク、SDGs、ICT の進化など、外部環境の変化に適応するとともに、高次元のニーズ「健康・長寿」、「安全・安心」、「快適・環境」に対応できる沖縄のソフトパワーを生かし、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を目指し

~~は、民間部門の誘導・補完も本県の役割の一つに挙げられます。(削除：施策展開にて記載)~~

~~今後の空・海・陸の交通網や MICE*10 施設等の社会基盤整備に向けては、土地利用計画の見直しや、補助金、税制優遇措置など企業・団体への支援を行うとともに、適切な市場分析の下での情報発信等により、民間の活動を誘導・誘発することが重要です。一方、これらに併せて環境等の規制や新たな課税制度等についても検討することで、持続可能な観光地を目指す必要があります。(削除：施策展開にて記載)~~

~~持続可能な観光の推進に向けて、地元住民の意向や観光消費の地域還元性、環境容量等に関する指標の精査や活用について、さらに検討を進める必要があります。その際、社会・文化、経済、環境を含めた総合的な指標を整備することにより、バランスの取れた検証可能な計画を具体化し、持続可能な沖縄観光の基盤とすることが重要です。(移動：施策展開イのリード文に一部移動)~~

~~本基本施策の展開においては、観光は最も平和な産業であるという理念の下、沖縄経済を牽引するリーディング産業として、SDGs、ICT の進化、感染症等の多様なリスクなど、外部環境の変化に適応するとともに、高次元のニーズ「健康・長寿」、「安全・安心」、「快適・環境」に対応できる豊かな自然環境、伝統芸能、空手、泡盛、琉球料理、ホスピタリティ等の国内外の人々~~

本基本施策の展開においては、SDGs、ICT の進化、感染症等の多様なリスクなど、外部環境の変化に適応するとともに、豊かな自然環境、伝統芸能、空手、泡盛、琉球料理、ホスピタリティ等の国内外の人々が求める健康・長寿、安全・安心、快適・環境等にもつながる沖縄のソフトパワーを生かし、観光は平和へのパスポートという考えの下、世界から選ばれる持続可能

<p>ます。</p> <p>安全・安心で快適な観光地の形成を基本方向に、世界の観光需要に対応した多様な受入環境を整備するとともに、観光・MICE 開催地としてのブランド力の強化、DX を取り入れた観光の高度化・多様化を促進する沖縄観光の変革が課題です。また、地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有する持続可能な観光地を形成するためにも、一定の量に加え「高次元のニーズへの対応」や「観光産業の高付加価値化」など質の向上に取り組むことも課題です。</p> <p>このため、「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進、SDGs に適応する観光ブランド力の強化、多彩かつ質の高い観光の推進、DX による沖縄観光の変革、マリンタウン MICE エリアの形成を核とした戦略的な MICE の振興に取り組みます。</p>	<p>が求める健康・長寿、安全・安心、快適・環境等にもつながらる沖縄のソフトパワーを生かし、観光は平和へのパスポートという考えの下、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革を目指します。</p> <p>安全・安心で快適な観光地の形成を基本方向に、世界の観光需要に対応した多様な受入環境を整備するとともに、観光・MICE 開催地としてのブランド力の強化、DX を取り入れた観光の高度化・多様化を促進する沖縄観光の変革が課題です。また、(削除: 取組内容と重複)地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有する持続可能な観光地を形成するためにも、各地域社会が受忍できる一定の量に加えを求めながら「高次元のニーズへの対応」や滞在型観光の推進や観光産業の高付加価値化など質の向上に取り組むこともによる沖縄観光の変革が課題です。</p>	<p>な観光地の形成と沖縄観光の変革を目指します。</p> <p>地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、各地域社会が受忍できる一定の量を求めながら、滞在型観光の推進や観光産業の高付加価値化など質の向上による沖縄観光の変革が課題です。</p> <p>このため、「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進、SDGs に適応する観光ブランド力の強化、多彩かつ質の高い観光の推進、DX による沖縄観光の変革、マリンタウン MICE エリアの形成を核とした戦略的な MICE の振興に取り組みます。</p>
---	---	---

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
----	------------	-------

ア 「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進

安全・安心であることは、ほとんどの観光客が求める観光地としての基本的な要件です。本県には日本品質の生活基盤に加えて、おもてなし、やさしさ、気遣いの県民性を有しており、観光地として「安全・安心」プラス「快適」なレベルまで高めることが期待できます。十分な強みとして、誰もがリラックスして楽しめる観光地としての受入品質を高める環境整備に取り組む必要があります。

自然災害、新興感染症、政治的動乱、各種の風評被害など、観光を取り巻く環境には様々なリスクが存在します。このようなリスクが表面化したときには、観光産業はもとより本県の社会・経済全体に大きな打撃や多大な損失を及ぼします。

このため、観光危機発生時における観光客への情報発信、避難・帰宅困難者対策、水際対策、観光危機後の風評被害対策、観光産業の早期復興に向けた対策はもとより、平常時から危機に備えた安全・安心で快適な観光を実現するための取組を推進する必要があります。大規模災害、テロ、サイバーテロ等のあらゆる危機への対策も拡充しなければなりません。本県としての危機管理体制を強化する必要があります。

新しい生活様式/ニューノーマル(新たな日常)にお

ア 「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進

~~安全・安心であることは、ほとんどの観光客が求める観光地としての基本的な要件です。本県には日本品質の生活基盤に加えて、おもてなし、やさしさ、気遣いの県民性を有しており、観光地として「安全・安心」プラス「快適」なレベルまで高めることが期待できます。十分な強みとして、誰もがリラックスして楽しめる観光地としての受入品質を高める環境整備に取り組む必要があります。~~(移動:右記のとおり要約し、記載場所を移動)

自然災害、新興感染症、政治的動乱、各種の風評被害など、観光を取り巻く環境には様々なリスクが存在します。このようなリスクが表面化したときには、観光産業はもとより本県の社会・経済全体に大きな打撃や多大な損失を及ぼします。

~~このため、安全・安心であることは、すべての観光客が求める観光地としての基本的な要件であるため、観光危機発生時における観光客への情報発信、避難・帰宅困難者対策、水際対策、観光危機後の風評被害対策、観光産業の早期復興に向けた~~(移動:用語集へ移動)観光危機管理対策はもとより、平常時から危機に備えた安全・安心で快適な観光を実現するための取組を推進する必要があります。~~大規模災害、テロ、サイバーテロ等のあらゆる危機への対策も拡充しなければなりません。本県としての危機管理体制を強化する必要があります。~~

新しい生活様式/ニューノーマル(新たな日常)にお

ア 「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進

自然災害、新興感染症、政治的動乱、各種の風評被害など、観光を取り巻く環境には様々なリスクが存在します。このようなリスクが表面化したときには、観光産業はもとより本県の社会・経済全体に大きな打撃や多大な損失を及ぼします。

また、本県は、おもてなし、やさしさ、気遣いの県民性を有しており、観光地として「安全・安心」プラス「快適」なレベルまで高めることができる土壤があります。

安全・安心であることは、すべての観光客が求める観光地としての基本的な要件であるため、観光危機管理対策はもとより、平常時から危機に備えた安全・安心で快適な観光を実現するための取組を推進する必要があります。

新しい生活様式/ニューノーマル(新たな日常)に対

ける安全・安心で快適な観光を推進するため、災害や感染症等の観光リスクに対応する仕組みづくり等を推進するとともに、空港・港湾の受入体制の強化や観光客が安全・安心で快適に過ごせる観光まちづくりに向けた、次に掲げる施策を推進します。

① 「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備

観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。

また、空港・港湾においては、多数の外国人旅行者等が同時に入域するスムーズでストレスのない玄関口として、CIQ*11 の迅速化等に取り組みます。さらに、各種感染症の侵入防止のための検疫・防疫体制及びセキュリティ対策の重点的強化に取り組みます。

② 快適で魅力ある観光まちづくりの推進

沖繩らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。

~~ける安全・安心で快適な対応した~~観光を推進するため、~~災害や感染症等の観光リスクに対応する仕組みづくり等を推進するとともに、~~空港・港湾の受入体制の強化等の整備や観光客が安全・安心で快適に過ごせる観光まちづくり、多様な受入環境の整備に向けた、次に掲げる施策を推進します。

応した観光を推進するため、受入体制等の整備や観光客が安全・安心で快適に過ごせる観光まちづくり、多様な受入環境の整備に向けた、次に掲げる施策を推進します。

① 「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備

観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。

また、空港・港湾においては、多数の外国人旅行者等が同時に入域するスムーズでストレスのない玄関口として、CIQ*11 の迅速化等に取り組みます。さらに、各種感染症の侵入防止のための検疫・防疫体制及びセキュリティ対策の重点的強化に取り組みます。

② 快適で魅力ある観光まちづくりの推進

沖繩らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。

<p>また、観光客を受け入れる県民一人ひとりのホスピタリティ意識を高める運動を展開します。</p> <p>③ 多様な受入環境の整備</p> <p>本県は、平成 19 年2月に国内初となる「観光バリアフリー宣言」を打ち出し、‘誰もが楽しめる、やさしい観光地’をコンセプトとする各種の取組を実施しています。様々な障害者の特性と多種多様なニーズへの的確な対応を含め、「観光困難者」を体系的に把握し、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進し、誰一人取り残さない世界水準の観光地としての受入環境整備に取り組めます。</p> <p>また、今後のユニバーサルツーリズムの推進において、海外からの来訪者を含む障害者とその家族は重要なターゲットと考えられることから、沖縄観光が目指すべき「観光産業の高付加価値化」に結びつく、障害の特性に応じた多面的な条件整備（受入環境、組織体制等）や県民のホスピタリティをはじめとする質の高いサービスの提供に取り組めます。</p>	<p>③ 多様な受入環境の整備</p> <p>本県は、平成 19 年2月に国内初となる「観光バリアフリー宣言」を打ち出し、‘誰もが楽しめる、やさしい観光地’をコンセプトとする各種の取組を実施しています。世界から選ばれる持続可能な観光地としての地域づくりを含め、様々な障害者の特性と多種多様なニーズへの的確な対応を含め、「観光困難者」を体系的に把握しに 世界から選ばれる持続可能な観光地としての地域づくりを含め、様々な障害者の特性と多種多様なニーズへの的確な対応を含め、「観光困難者」を体系的に把握し に応じた質の高いサービスの提供に取り組むことにより、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進し、誰一人取り残さない世界水準の観光地としての受入環境整備に取り組めます。</p>	<p>また、観光客を受け入れる県民一人ひとりのホスピタリティ意識を高める運動を展開します。</p> <p>③ 多様な受入環境の整備</p> <p>世界から選ばれる持続可能な観光地としての地域づくりを含め、様々な障害者の特性と多種多様なニーズに応じた質の高いサービスの提供に取り組むことにより、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進し、世界水準の観光地としての受入環境整備に取り組めます。</p> <p>また、今後のユニバーサルツーリズムの推進において、海外からの来訪者を含む障害者とその家族は重要なターゲットと考えられることから、沖縄観光が目指すべき「観光産業の高付加価値化」に結びつく、障害の特性に応じた多面的な条件整備（受入環境、組織体制等）や県民のホスピタリティをはじめとする質の高いサービスの提供に取り組めます。</p>
<p>原文</p>	<p>修正文案(見え消し)</p>	<p>溶け込み文</p>

イ SDGs に適応する観光ブランド力の強化

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行前までは、海外旅行者数の急激な増加に伴うオーバーツーリズムが世界各地で深刻な問題となっており、自然環境への影響や住民との軋轢など負の影響が懸念されていました。社会・文化、経済、環境の3領域において適切なバランスを長期的に維持するサステナブル・ツーリズム(持続可能な観光)やレスポンシブル・ツーリズム(責任ある観光)に資する政策を推進する必要があります。

レスポンシブル・ツーリズムは、旅行者・観光客が地域・住民と価値を共有する‘責任ある観光’です。従来の多くの観光、とりわけマスツーリズムが観光先の自然・文化・地元住民の生活等に負の影響を与えることが多かったことを背景に、観光と地域の共存・共生に向けた新たなコンセプトとして、国際的な広がりを見せています。

国際的な SDGs の展開を捉えた、持続可能で誰一人取り残さない沖縄観光のブランド力強化に向け、次に掲げる施策を推進します。

① サステナブル・ツーリズムの推進

国連世界観光機関は「持続可能な観光」について、‘訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、

イ SDGs に適応する観光ブランド力の強化

~~新型コロナウイルス感染症の世界的な流行前までは、特定の地域や時間における、海外旅行者数の急激な増加に伴うオーバーツーリズムが世界各地で深刻な問題となっており、自然環境への影響や住民との軋轢など負の影響が懸念されていました。住民生活への影響などの諸問題に対しては、社会・文化、経済、環境の3領域において適切なバランスを長期的に維持するサステナブル・ツーリズム(持続可能な観光)やレスポンシブル・ツーリズム(責任ある観光)に資する政策を推進する必要があります。~~

~~レスポンシブル・ツーリズムは、旅行者・観光客が地域・住民と価値を共有する‘責任ある観光’です。従来の多くの観光、とりわけマスツーリズムが観光先の自然・文化・地元住民の生活等に負の影響を与えることが多かったことを背景に、観光と地域の共存・共生に向けた新たなコンセプトとして、国際的な広がりを見せています。(統合:用語集に記載、一部前段に統合)~~

~~このため、国際的なSDGsの展開を捉えた、持続可能で誰一人取り残さないに~~適応する沖縄観光のブランド力を強化**するため、サステナブル・ツーリズムの推進や持続的観光指標の設定と観光地マネジメントに向けた、次に掲げる施策を推進します。**

① サステナブル・ツーリズムの推進

~~国連世界観光機関は「持続可能な観光」について、‘訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、~~

イ SDGs に適応する観光ブランド力の強化

特定の地域や時間における、旅行者の急激な増加に伴う自然環境や住民生活への影響などの諸問題**に対しては、社会・文化、経済、環境の3領域において適切なバランスを長期的に維持するサステナブル・ツーリズム(持続可能な観光)や、旅行者・観光客が地域・住民と価値を共有するレスポンシブル・ツーリズム(責任ある観光)に資する取組を推進する必要があります。**

このため、SDGs に適応する沖縄観光のブランド力を強化**するため、サステナブル・ツーリズムの推進や持続的観光指標の設定と観光地マネジメントに向けた、次に掲げる施策を推進します。**

① サステナブル・ツーリズムの推進

地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、**各地域社会が受忍できる**

現在と未来の社会、経済、環境への影響に十分配慮した観光'としており、地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持することが重要です。

持続可能な観光を継続するためにも、「高次元のニーズへの対応」や「観光産業の高付加価値化」など、一定の量に加え質の向上にも取り組むことにより、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有するサステナブル(持続可能)／レスポンシブル(責任ある)／ユニバーサル(誰もが楽しめる)・ツーリズムの推進に取り組みます。

② 持続的観光指標の設定と観光地マネジメント

国内外において「持続可能な観光」に関する取組が進められる中、各機関や各地域では「持続可能な観光指標(Sustainable Tourism Indicator)」(以下、「STI」)の開発が取り組まれています。STIは、国連世界観光機関が2004年に公表した後、国際持続可能観光委員会(GSTC)や欧州連合(EU)等で汎用的な持続可能な観光指標が開発されており、多くの観光地で導入されています。

準備も対策もないまま観光客を増やすことでオーバーツーリズムが生じるという面では、観光客を受け入れる側、特に行政が果たすべき役割と責務は重大です。

~~現在と未来の社会、経済、環境への影響に十分配慮した観光'としており(用語集へ移動)、地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持することが重要です。~~

~~持続可能な観光を継続するためにも、「高次元のニーズへの対応」や「観光産業の高付加価値化」など、地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、各地域社会が受忍できる一定の量に加えを求めながら、県民の幸福度や観光客の満足度など質の向上にも取り組むことにより、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有するサステナブル(持続可能)／レスポンシブル(責任ある)／ユニバーサル(誰もが楽しめる)・ツーリズムの推進に取り組みますを~~図ります。

② 持続的観光指標の設定と観光地マネジメント

国内外において「持続可能な観光」に関する取組が進められる中、各機関や各地域では「持続可能な観光指標(Sustainable Tourism Indicator)」(以下、「STI」)が~~開発が取り組ま~~されています。~~STIは、国連世界観光機関が2004年に公表した後、国際持続可能観光委員会(GSTC)や欧州連合(EU)等で汎用的な持続可能な観光指標が開発されており、多くの観光地で導入されています。(移動:用語集へ移動)~~

~~準備も対策もないまま観光客を増やすことでオーバーツーリズムが生じるという面では、観光客を受け入れる側、特に行政が果たすべき役割と責務は重大です。~~

一定の量を求めながら、県民の幸福度や観光客の満足度など質の向上にも取り組むことにより、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有するサステナブル(持続可能)／レスポンシブル(責任ある)・ツーリズムの推進を図ります。

② 持続的観光指標の設定と観光地マネジメント

国内外において「持続可能な観光」に関する取組が進められる中、各機関や各地域では「持続可能な観光指標(Sustainable Tourism Indicator)」(以下、「STI」)が~~開発~~されています。

このため、環境容量等を踏まえた持続可能な観光施策を進め、国際基準のSTIを基に開発された「日本版持続可能な観光ガイドライン」(令和2年6月観光庁)を活用するほか、本県独自の成果指標の設定に取り組みます。

<p>オーバーツーリズムに関する国内外の動向も踏まえ、自然環境の保全、地域の文化・生活環境の尊重を要件とする観光地マネジメントに取り組みます。</p> <p>また、環境容量等を踏まえた持続可能な観光施策を進めるため、国際基準の STI を基に開発された「日本版持続可能な観光ガイドライン」(令和2年6月観光庁)を活用するほか、本県独自の成果指標の設定に取り組みます。</p>	<p>(削除:リード文に同じ内容が記載)</p> <p>オーバーツーリズム持続可能な観光に関する国内外の動向も踏まえ、自然環境の保全、地域の文化・生活環境の尊重を要件とする観光地マネジメントに取り組みます。(削除:施策展開リード文と重複)</p> <p>また、このため、環境容量等を踏まえた持続可能な観光施策を進めるため、国際基準の STI を基に開発された「日本版持続可能な観光ガイドライン」(令和2年6月観光庁)を活用するほか、本県独自の成果指標の設定に取り組みます。</p>	
---	--	--

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>ウ 多彩かつ質の高い観光の推進</p> <p>本県の観光産業については、自立型経済の持続可能な発展に貢献し、地元ひいては県民の幸福感を高める観光を推進すべきであり、中長期的なスパンで観光収入と環境保持そして住民の幸福感の三位一体となったバランスが取れた持続的発展の観光産業を目指す必要があります。</p> <p>今後は、特に「高次元のニーズ」に対応した質の高い観光の推進が、結果として滞在日数や観光収入の増加、環境配慮、地元住民の理解、生活の向上等につながります。</p> <p>持続可能な観光産業を目指す上では、量だけでなく、引き続き観光体験プログラムの開発や観光人材の育成・確保など、質の強化に取り組むとともに、地域経済の発展と環境保護を行う体制を構築し、観光地マネジメントの観点で政策を展開していく必要があります。</p> <p>豊かな自然環境、伝統芸能、空手、泡盛、琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした付加価値の高いツーリズムを提供し、高次元のニーズに対応できる観光の展開に向けた次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① 国内外観光客のマーケティング</p>	<p>ウ 多彩かつ質の高い観光の推進</p> <p>本県の観光産業については、自立型経済の持続可能な発展に貢献し、地元ひいては県民の幸福感を高める観光を推進すべきであり、中長期的なスパンで観光収入と環境保持そして住民の幸福感の三位一体となったバランスが取れた持続的発展の観光産業を目指す必要があります。(要約:右記のとおり要約)</p> <p>今後は、特に「高次元のニーズ」に対応した質の高い観光の推進が、結果として滞在日数や観光収入の増加、環境配慮、地元住民の理解、生活の向上等につながります。(要約:右記のとおり要約)</p> <p>持続可能な観光産業を目指す上では、量だけでなく、引き続き観光体験プログラムの開発や観光人材の育成・確保など、質の強化に取り組むとともに、地域経済の発展と環境保護を行う体制を構築し、観光地マネジメントの観点で政策を展開していく必要があります。</p> <p>(削除:観光地マネジメントは施策展開イに記載)</p> <p>豊かな自然環境、伝統芸能、空手、泡盛、琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした付加価値の高いツーリズムを提供し、高次元のニーズに対応できる観光の展開に向けた次に掲げる施策を推進します。(削除:基本施策リード文と重複)</p> <p>① 国内外観光客のマーケティング</p>	<p>ウ 多彩かつ質の高い観光の推進</p> <p>本県の観光産業については、自立型経済の発展に貢献し、県民の幸福感を高める観光を推進するため、中長期的なスパンで観光収入、環境保持そして住民の幸福感の三位一体となったバランスが取れた持続可能な観光産業を目指す必要があります。</p> <p>このため、沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進、多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する多様な誘客活動の展開、質の高いクルーズの推進、観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出に向けた、次に掲げる施策を推進します。</p>

国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことで、高次元のニーズへの対応、高付加価値な観光、観光消費額の向上、良質な観光客を誘致するターゲットマーケティングへの転換を図ります。

② 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進

本県は、「健康・長寿」、「安全・安心」、「快適・環境」等の高次元のニーズに対応できるソフトパワーを有しており、これらの要素の魅力を更に高めることで観光地としての競争力を増大させ、他にはない世界水準の観光地としての地位を確立する必要があります。

また、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や芸能、伝統行事が各地域で脈々と受け継がれ、暮らしの中に息づいていることで、魅力ある風土や空気感を作り出しています。そうした文化芸能や伝統的な生活文化、新しい生活文化の体験を観光価値として高めるとともに、それらの特色ある文化やその担い手である人の心がこもった取組を進めることにより、県民の誇りの醸成や次世代への文化の継承につなげます。

心身の健康を希求するアクティビティ、ライフスタイルに関わるウェルネス、日常生活を離れてのリフレッシュ

~~国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことで、高次元のニーズへの対応、高付加価値な観光、観光消費額の向上、良質な観光客を誘致するターゲットマーケティングへの転換を図ります。(移動:エ③に移動)~~

①② 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進

~~本県は、「健康・長寿」、「安全・安心」、「快適・環境」等の高次元のニーズに対応できるソフトパワーを有しており、これらの要素の魅力を更に高めることで観光地としての競争力を増大させ、他にはない世界水準の観光地としての地位を確立する必要があります。(削除:ソフトパワーについては基本施策リード文で記載)~~

~~また、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や芸能、伝統行事が各地域で脈々と受け継がれ、暮らしの中に息づいていることで、魅力ある風土や空気感を作り出しています。そうした文化芸能や伝統的な生活文化、新しい生活文化の体験を観光価値として高めるとともに、それらの特色ある文化やその担い手である人の心がこもった取組を進めることにより、県民の誇りの醸成や次世代への文化の継承につなげます。(削除:1-(4)の内容と重複)~~

~~心身の健康を希求するアクティビティ、ライフスタイルに関わるウェルネス、日常生活を離れてのリフレッシュ~~

① 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進

本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、

や癒やし、自己回復等は、国内外の旅行者が求める重要なニーズに位置付けられます。また、都市部では味わえない「静寂」や光害の影響のない美しい夜空を示す‘ダークスカイ’など離島・過疎地の特性を生かした新たな展開も期待できます。こうした新たなニーズに対応するターゲットマーケティングを展開し、沖縄の魅力を生かした質の高い観光とサービスの提供を図ります。

豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かし、都市部では得られない良質な観光体験や沖縄の魅力を生かした高品質の環境とサービスを提供します。

エコツーリズム、アドベンチャーツーリズムなど地域の資源と触れあう体験型観光やエデュケーショナルツーリズム、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光など、多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。

本県の美しい海をフィールドとしたマリレジャーについては、「安全・安心」や環境に配慮した質の高いサービスを提供できる体制づくりや利用者の満足度向上に資する取組を実施します。

本県には豊かな自然が残されており、その青い海と緑豊かな森林に固有種や希少種をはじめとする多くの野生動植物が生息・生育する、世界でもまれに見る生

~~や癒やし、自己回復等は、国内外の旅行者が求める重要なニーズに位置付けられます。また、都市部では味わえない「静寂」や光害の影響のない美しい夜空を示す‘ダークスカイ’など離島・過疎地の特性を生かした新たな展開も期待できます。こうした新たなニーズに対応するターゲットマーケティングを展開し、沖縄の魅力を生かした質の高い観光とサービスの提供を図ります。(統合:右記のとおり)~~

~~豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かし、都市部では得られない良質な観光体験や沖縄の魅力を生かした高品質の環境とサービスを提供します。(統合:右記のとおり)~~

~~エコツーリズム、アドベンチャーツーリズムなど地域の資源と触れあう体験型観光やエデュケーショナルツーリズム、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光など、多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。(統合:右記のとおり)~~

~~本県の美しい海をフィールドとしたマリレジャーについては、「安全・安心」や環境に配慮した質の高いサービスを提供できる体制づくりや利用者の満足度向上に資する取組を実施します。(統合:右記のとおり)~~

~~本県には豊かな自然が残されており、その青い海と緑豊かな森林に固有種や希少種をはじめとする多くの野生動植物が生息・生育する、世界でもまれに見る生~~

ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。

また、地域の魅力ある自然環境や、地域社会に配慮したエコツアー、マリレジャー等の自然と触れ合う体験型観光や、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光を推進します。

さらに、心身の健康を希求するウェルネスや癒やし、リフレッシュ等の国内外の旅行者が求めるニーズに対応した沖縄の魅力を生かした質の高い観光を推進します。

物多様性に富んだ地域となっています。今後も、多くの観光客を惹きつけている自然環境の保全に最大限に配慮し、持続可能な観光を推進します。

多次元の観光ニーズへの対応が可能な観光産業のバリエーションの拡大と高付加価値化について戦略的な検討を進めます。

③ 多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開

沖縄を他の観光地と差別化する魅力の核となるのが「自然と文化の魅力」と「安全・安心・快適な旅行環境」です。多次元の観光ニーズへの対応が求められる中、沖縄のソフトパワーを生かした長期滞在型に対応した滞在型観光の推進、広域周遊ルートの開発に取り組み、非日常でリアルな体験ができ、高品質で付加価値の高い魅力的なツーリズムを展開することで、世界から選ばれる持続可能な観光地としての地位を確立できるよう取り組みます。

沖縄観光の核である「自然」と「文化」の保全・継承と活用のバランスを図りながら、沖縄らしい観光体験を高品質で提供するとともに、それらのイメージを基調とする魅力的かつ多様なツーリズムを展開します。

さらに、沖縄の自然・文化を尊重し、価値を共有できる旅行者・観光客の誘致に向けては、観光客の行動歴、購買データ等の観光ビッグデータのエビデンスに

~~物多様性に富んだ地域となっています。今後も、多くの観光客を惹きつけている自然環境の保全に最大限に配慮し、持続可能な観光を推進します。(削除: サステナブルについてはイ①にて記載済み)~~

~~多次元の観光ニーズへの対応が可能な観光産業のバリエーションの拡大と高付加価値化について戦略的な検討を進めます。(削除: 抽象的な内容)~~

~~②③~~ 多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開

沖縄を他の観光地と差別化する魅力の核となるのが「自然と文化の魅力」と「安全・安心・快適な旅行環境」です。~~多次元の多様な~~観光ニーズへの対応が求められる中、沖縄のソフトパワーを生かした長期滞在型に対応した滞在型観光の推進、広域周遊ルートの開発に**取り組み**、非日常でリアルな体験ができる**高品質で付加価値の高い魅力的なツーリズムに**を展開することで、世界から選ばれる持続可能な観光地としての地位を確立できるよう取り組みます。

~~沖縄観光の核である「自然」と「文化」の保全・継承と活用のバランスを図りながら、沖縄らしい観光体験を高品質で提供するとともに、それらのイメージを基調とする魅力的かつ多様なツーリズムを展開します。(削除: 前段記述内容と重複)~~

~~さらに、沖縄の自然・文化を尊重し、価値を共有できる旅行者・観光客の誘致に向けては、観光客の行動歴、購買データ等の観光ビッグデータのエビデンスに~~

② 多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開

沖縄を他の観光地と差別化する魅力の核となるのが「自然と文化の魅力」と「安全・安心・快適な旅行環境」です。**多様な**観光ニーズへの対応が求められる中、沖縄のソフトパワーを生かした長期滞在型に対応した滞在型観光の推進、広域周遊ルートの開発、非日常でリアルな体験ができる**付加価値の高い魅力的なツーリズム**に取り組みます。

また、Be.Okinawa ブランドイメージの発信により、成長著しいシンガポール、タイ、マレーシアをはじめとするASEAN 地域のみならず、欧米豪露等の新規市場や潜在市場での開拓を進め、特定地域に偏らない誘客活動を展開するとともに、未経験者層の新規需要を開拓し、富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを図ります。

さらに、沖縄型特定免税店制度を活用したショッピング、レジャー、スポーツ、リゾートウェディング、MICE、ワーケーションなど、観光リゾートに関わる広範なニーズ

基づき、良質かつ持続可能な旅行需要に着目したターゲットマーケティングを展開します。

Be.Okinawa ブランドイメージを基調に、成長著しいアジア市場のみならず、欧米豪露等の新規市場や潜在市場での開拓を進め、特定地域に偏らない誘客活動を展開し、富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを図ります。

外的要因によるリスク軽減を図るため、これまで市場開拓に取り組んできたシンガポール、タイ、マレーシアをはじめとする ASEAN 地域や欧米豪等での取組を強化し、そのウェイトを高めていくとともに、それ以外の潜在的な市場開拓に取り組めます。また、SDGs への取組を含む、多彩で付加価値の高い持続可能な観光地であることを発信することにより、未経験者層の新規需要を開拓するとともに、様々な地域から再来訪を促進し、消費額の高い観光客の誘客を図ります。

滞在日数や観光消費額の増加に向けては、沖縄型特定免税店制度を活用したショッピング、レジャー、スポーツ、リゾートウェディング、MICE、ワーケーションなど、観光リゾートに関わる広範なニーズを多角的に把握し、各コンテンツの効果的な発信により消費額の高い観光客の誘客を図ります。

④ 質の高いクルーズ観光の推進

クルーズ寄港地の分散化と県内での周遊を促進する

~~基づき、良質かつ持続可能な旅行需要に着目したターゲットマーケティングを展開します。(削除:重複)~~

~~Be.Okinawa ブランドイメージを基調に、成長著しいアジア市場のみならず、欧米豪露等の新規市場や潜在市場での開拓を進め、特定地域に偏らない誘客活動を展開し、富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを図ります。~~

~~外的要因によるリスク軽減を図るため、これまで市場開拓に取り組んできたシンガポール、タイ、マレーシアをはじめとする ASEAN 地域や欧米豪等での取組を強化し、そのウェイトを高めていくとともに、それ以外の潜在的な市場開拓に取り組めます。また、SDGs への取組を含む、多彩で付加価値の高い持続可能な観光地であることを発信することにより、未経験者層の新規需要を開拓するとともに、様々な地域から再来訪を促進し、消費額の高い観光客の誘客を図ります。(統合:右記のとおり)~~

~~さらに、滞在日数や観光消費額の増加に向けては、~~沖縄型特定免税店制度を活用したショッピング、レジャー、スポーツ、リゾートウェディング、MICE、ワーケーションなど、観光リゾートに関わる広範なニーズを多角的に把握し、各コンテンツの効果的な発信により消費額の高い観光客の誘客を図ります。

③④ 質の高いクルーズ観光の推進

を多角的に把握し、各コンテンツの効果的な発信により消費額の高い観光客の誘客を図ります。

③ 質の高いクルーズ観光の推進

クルーズ寄港地の分散化と県内での周遊を促進する

ことにより、より広い範囲・分野に経済効果を波及させるため、県内周遊クルーズや着地型観光を図るとともに、受入施設、二次交通及び周辺環境の整備を進め、観光交流拠点としての寄港促進に向けて取り組みます。

また、フライ・アンド・クルーズ等の新たな旅行形態についても、良質な観光・ツーリズムの振興を要件に、沖縄観光の付加価値を創出する方策として展開を図り、その誘致を含めた多様な国際クルーズネットワークの拡充等に取り組みます。

さらに、クルーズ船寄港による経済的利益の創出と地域への還元のあり方について検討します。

⑤ 観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出

観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させることで、北部圏域で整備が進められる民間主体の大規模テーマパーク事業計画など魅力ある観光施設の整備を促進し、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様な観光ニーズに対応した新たな観光コンテンツを構築するほか、既存の観光施設に対しても、体験プログラムの開発やデジタル技術の活用促進によるサービスの付加価値化等を推進し、観光消費額の向上や滞在日数の延長を図ります。

また、既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、

④⑤ 観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出

~~観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させることで、北部圏域で整備が進められる民間主体の大規模テーマパーク事業計画など魅力ある観光施設の整備を促進し、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様な観光ニーズに対応した新たな観光コンテンツを構築するほか、既存の観光施設に対しても、体験プログラムの開発やデジタル技術の活用促進によるサービスの付加価値化等を推進し、観光消費額の向上や滞在日数の延長を図ります。~~

~~また、既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、~~

ことにより、より広い範囲・分野に経済効果を波及させるため、県内周遊クルーズや着地型観光を図るとともに、受入施設、二次交通及び周辺環境の整備を進め、観光交流拠点としての寄港促進に向けて取り組みます。

また、フライ・アンド・クルーズ等の新たな旅行形態についても、良質な観光・ツーリズムの振興を要件に、沖縄観光の付加価値を創出する方策として展開を図り、その誘致を含めた多様な国際クルーズネットワークの拡充等に取り組みます。

さらに、クルーズ船寄港による経済的利益の創出と地域への還元のあり方について検討します。

④ 観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出

観光消費額の向上や滞在日数の延長を図るため、観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させ、北部圏域で整備が進められる大規模テーマパーク事業計画など魅力ある民間観光施設の整備促進、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様なニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築や、体験プログラムの開発に取り組みます。

また、既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、

国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。さらに、長期滞在が期待できる富裕層の受入れを拡充していくためには高付加価値な宿泊施設やサービスを整備するとともに、高度な人材の確保等が必要であり、その推進に向けた税制優遇措置や規制緩和等の戦略的な取組を推進します。

⑥ 空港・港湾と観光拠点エリアにおける観光二次交通の利便性向上

空港・港湾と観光拠点エリアの移動が円滑に行えることにより、観光客の周遊性の拡大・向上による観光消費額の向上が期待できるため、主要観光拠点を観光の交通拠点として位置付け、空港・港湾と観光拠点間を自動運行する新たなモビリティの活用を検討するとともに、観光拠点周辺におけるカーボンフリーの視点も踏まえた多様なモビリティを活用したシームレスな乗り継ぎサービスの提供のほか、空港・港湾と観光拠点エリアを結ぶ公共交通機関の利便性向上、レンタカー貸渡拠点の分散化など観光二次交通の利便性向上に向けた取組を推進します。

~~国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。さらに、長期滞在が期待できる富裕層の受入れを拡充していくためには高付加価値な宿泊施設やサービスを整備するとともに、高度な人材の確保等が必要であり、その推進に向けた税制優遇措置や規制緩和等の戦略的な取組を推進します。~~

(要約:右記のとおり)

~~⑥ 空港・港湾と観光拠点エリアにおける観光二次交通の利便性向上~~

~~空港・港湾と観光拠点エリアの移動が円滑に行えることにより、観光客の周遊性の拡大・向上による観光消費額の向上が期待できるため、主要観光拠点を観光の交通拠点として位置付け、空港・港湾と観光拠点間を自動運行する新たなモビリティの活用を検討するとともに、観光拠点周辺におけるカーボンフリーの視点も踏まえた多様なモビリティを活用したシームレスな乗り継ぎサービスの提供のほか、空港・港湾と観光拠点エリアを結ぶ公共交通機関の利便性向上、レンタカー貸渡拠点の分散化など観光二次交通の利便性向上に向けた取組を推進します。(統合・要約:エー⑤に統合のうえ内容を要約)~~

国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>エ デジタルトランスフォーメーションによる沖縄観光の変革</p> <p>国内外の観光客が快適に過ごせる観光地の形成に向け、ICT やデジタル技術を活用し、観光客の利便性向上や新たな観光体験の創出に取り組むとともに、長期滞在につながる沖縄ならではのワーケーション拠点の形成に向けた次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① ICT による新たな観光体験の創出促進</p> <p>デジタル技術を活用し、VR(仮想現実)・AR(拡張現実)等により本県の文化や自然を深く体験・体感できる観光コンテンツの創出に取り組みます</p> <p>② ICT・通信インフラを拡充した観光施設等の受入体制構築</p> <p>観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及・促進や無料公衆無線 LAN (Free-Wi-Fi)、施設情報のオープンデータ化等の環境整備に取り組みます。</p>	<p>エ デジタルトランスフォーメーションによる沖縄観光の変革</p> <p>国内外の観光客が快適に過ごせる観光地の形成に向けては、ICT やデジタル技術を活用した沖縄観光の変革が必要です。</p> <p>このため、ICT による新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における利便性向上や世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成、国内外観光客のマーケティング、観光二次交通の利便性向上及び利用促進に向けた、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① ICT による新たな観光体験の創出促進</p> <p>新たなデジタル技術をの活用し、VR(仮想現実)・AR(拡張現実)等により本県の文化や自然を深く体験・体感できる観光コンテンツの創出に取り組みます。</p> <p>② ICT・通信インフラを拡充した観光施設等の受入体制構築</p> <p>観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及・促進や無料公衆無線 LAN (Free-Wi-Fi)、施設情報のオープンデータ化等の環境整備に取り組みます。(統合:エ①に統合)</p>	<p>エ デジタルトランスフォーメーションによる沖縄観光の変革</p> <p>国内外の観光客が快適に過ごせる観光地の形成に向けては、ICT やデジタル技術を活用した沖縄観光の変革が必要です。</p> <p>このため、ICT による新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における利便性向上や世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成、国内外観光客のマーケティング、観光二次交通の利便性向上及び利用促進に向けた、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① ICT による新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における利便性向上</p> <p>新たなデジタル技術の活用により本県の文化や自然を深く体験・体感できる観光コンテンツの創出に取り組みます。</p> <p>また、観光客が快適に過ごせる観光地の形成のため、リアルタイムな観光地及び移動経路等における混雑回避に必要な情報の提供や、観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及・促進、無料公衆無線 LAN (Free-Wi-Fi)、施設情報のオープンデータ化等の環境整備に取り組みます。</p>

<p>③ 世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成</p> <p>観光地における Wi-Fi 等の通信設備、情報セキュリティ環境の整備に取り組みます。</p> <p>また、送り手となる企業やワーケーションに関心がある個人事業主等に対し、本県の優位性・差別化要素を構築し誘客活動を展開します。</p>	<p>③② 世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成</p> <p>観光地における Wi-Fi 等の通信設備、情報セキュリティ環境の整備に取り組みます。</p> <p>また、本県の優位性・差別化要素を構築し、デステーションとしての沖縄の認知度向上を図るとともに、送り手となる企業やワーケーションに関心がある個人事業主等に対し、誘客活動を展開します。</p>	<p>② 世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成</p> <p>観光地における Wi-Fi 等の通信設備、情報セキュリティ環境の整備に取り組みます。</p> <p>また、本県の優位性・差別化要素を構築し、デステーションとしての沖縄の認知度向上を図るとともに、送り手となる企業やワーケーションに関心がある個人事業主等に対し、誘客活動を展開します。</p>
<p>④ リアルタイムな観光情報の提供</p> <p>ICT の活用により、リアルタイムな観光地及び移動経路等における混雑回避に必要な情報の提供に取り組み、観光客の満足度向上を図ります。</p>	<p>④リアルタイムな観光情報の提供</p> <p>ICT の活用により、リアルタイムな観光地及び移動経路等における混雑回避に必要な情報の提供に取り組み、観光客の満足度向上を図ります。(統合:エー①に統合)</p>	
<p>⑤ 観光二次交通の利用促進</p> <p>過度なレンタカー利用に起因する那覇空港や観光地等の混雑等の課題を解決するためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。このため、民間が取り組む MaaS や</p>	<p>③ 国内外観光客のマーケティング</p> <p>国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことで、高次元のニーズへの対応、高付加価値な観光、観光消費額の向上、良質な観光客を誘致するターゲットマーケティングへの転換を図ります。</p>	<p>③ 国内外観光客のマーケティング</p> <p>国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことで、高次元のニーズへの対応、高付加価値な観光、観光消費額の向上、良質な観光客を誘致するターゲットマーケティングへの転換を図ります。</p>
<p>⑤ 観光二次交通の利用促進</p> <p>過度なレンタカー利用に起因する那覇空港や観光地等の混雑等の課題を解決するためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。このため、民間が取り組む MaaS や</p>	<p>⑤④ 観光二次交通の利便性向上及び利用促進</p> <p>過度なレンタカー利用に起因する那覇空港や観光地等の混雑等の課題を解決するためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。このため、民間が取り組む MaaS や</p>	<p>④ 観光二次交通の利便性向上及び利用促進</p> <p>国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性及び満足度の向上を図るためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。</p>

<p>CASE 等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境を構築し、維持するとともに、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及を促進することで、ICT を活用した新たなサービスの創出を促進し、国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性・満足性の向上を図ります。</p>	<p>CASE 等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境を構築し、維持するとともに、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及を促進することで、ICT を活用した新たなサービスの創出を促進し、国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性・満足性の向上を図ります。(統合・要約:ウー⑥と統合し、右記のとおり要約)</p>	<p>このため、民間が取り組む MaaS や CASE 等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築・維持や、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及に取り組めます。</p> <p>また、空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化を図るため、主要観光拠点を観光二次交通の交通結節点として位置付け、カーボンフリーの視点を踏まえた新たなモビリティの活用を検討や多様なモビリティを活用したシームレスな乗り継ぎサービスの提供に取り組むとともに、既存公共交通機関の利便性向上、レンタカー貸渡拠点の分散化に取り組めます。</p>
---	--	--

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>オ マリントウン MICE エリアの形成を核とした戦略的な MICE の振興</p> <p>MICE については、経済・消費活動の裾野が広く、周辺地域を含めて大きな経済効果が見込まれるほか、教育的効果や地域活性化にもつながることから、沖縄観光に MICE 振興による「ビジネスツーリズム」という新機軸を位置付け、MICE の誘致や、その開催支援、受入体制の整備、関連ビジネスの振興など、各種施策を戦略的に推進することにより、関連産業の成長発展及び国際的な MICE 開催地としてのブランドを構築することが必要です。</p> <p>そのためには、大型 MICE 施設の整備を含むマリントウン MICE エリアの形成を推進するとともに、本県の自然、歴史、文化など魅力ある観光資源を生かしたユニークベニューやアフターMICE、各種プログラム等の開発を促進させる次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① MICE 振興とビジネスツーリズムの推進</p>	<p>オ マリントウン MICE エリアの形成を核とした戦略的な MICE の振興</p> <p>MICE については、経済・消費活動の裾野が広く、周辺地域を含めて大きな経済効果が見込まれるほか、教育的効果や地域活性化にもつながることから、ります。</p> <p>このため、沖縄観光に MICE 振興による「ビジネスツーリズム」という新機軸を位置付け、国際的な MICE 開催地としてのブランドの構築及び関連産業の成長発展を図るため、MICE の誘致や、その開催支援、受入体制の整備、関連ビジネスの振興など、各種施策を戦略的に推進することにより、関連産業の成長発展及び国際的な MICE 開催地としてのブランドを構築することが必要です。MICE 振興とビジネスツーリズムの推進、マリントウン MICE エリアを核とした全県的な MICE 受入体制の整備、MICE を活用した関連産業の振興に向けた、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>そのためには、大型 MICE 施設の整備を含むマリントウン MICE エリアの形成を推進するとともに、本県の自然、歴史、文化など魅力ある観光資源を生かしたユニークベニューやアフターMICE、各種プログラム等の開発を促進させる次に掲げる施策を推進します。(統合:前段に一部統合)</p> <p>① MICE 振興とビジネスツーリズムの推進</p>	<p>オ マリントウン MICE エリアの形成を核とした戦略的な MICE の振興</p> <p>MICE については、経済・消費活動の裾野が広く、周辺地域を含めて大きな経済効果が見込まれるほか、教育的効果や地域活性化にもつながります。</p> <p>このため、沖縄観光に MICE 振興による「ビジネスツーリズム」という新機軸を位置付け、国際的な MICE 開催地としてのブランドの構築及び関連産業の成長発展を図るため、MICE 振興とビジネスツーリズムの推進、マリントウン MICE エリアを核とした全県的な MICE 受入体制の整備、MICE を活用した関連産業の振興に向けた、次に掲げる施策を推進します。</p> <p>① MICE 振興とビジネスツーリズムの推進</p>

離島も含めた全県的な MICE 振興を図るとともに、(一財)沖縄観光コンベンションビューローを中心とした誘致主体のマーケティング力や分析能力等を強化しつつ、MICE 主催者のニーズを踏まえた誘致や MICE ブランドを踏まえたプロモーション等を展開します。

また、OIST をはじめとする県内大学等と連携した学術会議の誘致や本県に比較優位のある情報通信関連、物流、航空関連等の産業分野と連携した展示会の開催など、本県の優位性を生かした MICE の開催・誘致に向けた支援に取り組みます。

さらに、「安全・安心な MICE 開催地」を実現する取組の国内外への発信と MICE 開催によるビジネス機会や研究促進等の効果を最大化するため、主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組を推進します。

② マリントウン MICE エリアを核とした全県的な MICE 受入体制の整備

マリントウン MICE エリアにおいて大型 MICE 施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICE を中心とした魅力あるまちづくりに取り組みます。

また、会場やホテル等の施設間の協同による大型 MICE 案件の受入促進や、MICE 主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的な MICE 受入体制の整備を推進します。

離島も含めた全県的な MICE の振興を図るとともに、(一財)沖縄観光コンベンションビューローを中心とした誘致主体のマーケティング力や分析能力等を強化しつつ、MICE 主催者のニーズを踏まえた誘致や MICE ブランドを踏まえたプロモーション等を展開します。

また、OIST をはじめとする県内大学等と連携した学術会議の誘致や本県に比較優位のある情報通信関連、物流、航空関連等の産業分野と連携した展示会の開催など、本県の優位性を生かした MICE の開催・誘致に向けた支援に取り組みます。

さらに、「安全・安心な MICE 開催地」を実現する取組の国内外への発信と MICE 開催によるビジネス機会や研究促進等の効果を最大化するため、主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組を推進します。

② マリントウン MICE エリアを核とした全県的な MICE 受入体制の整備

マリントウン MICE エリアにおいて大型 MICE 施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICE を中心とした魅力あるまちづくりに取り組みます。

また、産学官で構成する沖縄 MICE ネットワークを活用した連携強化に取り組み、会場やホテル等の施設間の協同による大型 MICE 案件の受入促進や、MICE 主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的な MICE 受入体制の整備を推進します。

離島も含めた全県的な MICE の振興を図るため、(一財)沖縄観光コンベンションビューローを中心とした誘致主体のマーケティング力や分析能力等を強化しつつ、MICE 主催者のニーズを踏まえた誘致や MICE ブランドを踏まえたプロモーション等を展開します。

また、OIST をはじめとする県内大学等と連携した学術会議の誘致や本県に比較優位のある情報通信関連、物流、航空関連等の産業分野と連携した展示会の開催など、本県の優位性を生かした MICE の開催・誘致に向けた支援に取り組みます。

さらに、「安全・安心な MICE 開催地」を実現する取組の国内外への発信と MICE 開催によるビジネス機会や研究促進等の効果を最大化するため、主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組を推進します。

② マリントウン MICE エリアを核とした全県的な MICE 受入体制の整備

マリントウン MICE エリアにおいて大型 MICE 施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICE を中心とした魅力あるまちづくりに取り組みます。

また、産学官で構成する沖縄 MICE ネットワークを活用した連携強化に取り組み、会場やホテル等の施設間の協同による大型 MICE 案件の受入促進や、MICE 主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的な MICE 受入体制の整備を推進します。

③ MICE を活用した関連産業の振興

MICE に関わる多様な MICE プレイヤーの育成・高度化を図るとともに、大型 MICE 案件を円滑に受け入れるための複数の会場・宿泊施設や事業者間の協同を促進させるなど、沖縄 MICE ネットワークを活用した連携強化に取り組み、更なる受入体制の強化に努めます。

また、沖縄 MICE ブランドや安全・安心な MICE 開催に向けた取組に加え、SDGs や DX など新たな取組を県内 MICE 関連事業者へ浸透させ、高付加価値な MICE コンテンツや受入プログラムの開発等を促進させることで国内外の競合地との差別化を図ります。加えて、情報通信、物流関連、ものづくり、飲食・小売、サービスなど様々な事業者による MICE 関連ビジネスへの展開を後押しします。

③ MICE を活用した関連産業の振興

~~MICE に関わる多様な MICE プレイヤーの育成・高度化を図るとともに、大型 MICE 案件を円滑に受け入れるための複数の会場・宿泊施設や事業者間の協同を促進させるなど、沖縄 MICE ネットワークを活用した連携強化に取り組み、更なる受入体制の強化に努めます。(移動:オー②に一部移動)~~

~~また、~~国内外の競合地との差別化を図るため、沖縄 MICE ブランドの構築や安全・安心な MICE 開催に向けた取組に加えて取り組むとともに、県内 MICE 関連事業者へ SDGs や DX など新たな取組を県内 MICE 関連事業者へ浸透させ、高付加価値な MICE コンテンツや受入プログラムの開発等をの促進させることで国内外の競合地との差別化を図りますに取り組めます。加えてまた、情報通信、物流関連、ものづくり、飲食・小売、サービスなど様々な事業者による MICE 関連ビジネスへの展開を後押しします。

③ MICE を活用した関連産業の振興

国内外の競合地との差別化を図るため、沖縄 MICE ブランドの構築や安全・安心な MICE 開催に向けて取り組むとともに、県内 MICE 関連事業者へ SDGs や DX など新たな取組を浸透させ、高付加価値な MICE コンテンツや受入プログラムの開発等の促進に取り組めます。

また、情報通信、物流関連、ものづくり、飲食・小売、サービスなど様々な事業者による MICE 関連ビジネスへの展開を後押しします。

赤字:修正、削除
 青字:要約、記載場所の移動
 緑字:用語集へ記載

【修正文対比表】新たな振興計画（中間とりまとめ）

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>3 (6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出</p> <p>ウ沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出</p> <p>人々を惹きつける沖縄の魅力つまりソフトパワーは、人口減少時代において、大きな可能性を持っています。また、国内唯一の亜熱帯地域に属し、独自の歴史や文化、豊かな自然環境を有する本県は、多様な生物資源や農林水産物、食文化、伝統芸能、観光資源等の多くの地域資源を有するとともに、健康・長寿、安全・安心、快適・環境といった高次元のニーズに対応したブランド力も備えています。さらに、先進国における成熟社会の発展に不可欠な“文化・芸術”、観光リゾート産業等との連携による相乗効果が期待される“健康”等が有望とされています。</p> <p>このため、人々に精神的豊かさをもたらし、至上の生活を享受できる社会を目指す上でも、沖縄の魅力であり人々を魅了するソフトパワーを生かした新産業の創出に向け、本県の地域資源の活用を図るため次に掲げる施策を推進します。</p>	<p>3 (6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出</p> <p>ウ沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出</p> <p>人々を惹きつける沖縄の魅力つまりソフトパワーは、人口減少時代において、大きな可能性を持っています。また、国内唯一の亜熱帯地域に属し、独自の歴史や文化、豊かな自然環境を有する本県は、多様な生物資源や農林水産物、食文化、伝統芸能、観光資源等の多くの地域資源を有するとともに、健康・長寿、安全・安心、快適・環境といった高次元のニーズに対応したブランド力もソフトパワーを備えています。さらに、先進国における成熟社会の発展に不可欠な“文化・芸術”、観光リゾート産業等との連携による相乗効果が期待される“健康”等が有望とされています。</p> <p>このため、人々に精神的豊かさをもたらし、至上の生活を享受できる社会を目指す上でも、沖縄の魅力であり人々を魅了するソフトパワーを生かした新産業の創出に向け、本県の地域資源の活用を図るため次に掲げる施策を推進します。(要約:右記のとおり要約)</p>	<p>3 (6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出</p> <p>ウ沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出</p> <p>多様な生物資源や農林水産物、食文化、伝統芸能、観光資源等の多くの地域資源を有する沖縄のソフトパワーは、本県の持続可能な発展につながる新産業の創出を目指すうえで大きな可能性を有しており、観光産業との連携による相乗効果が期待されています。</p> <p>このため、独自の歴史や文化、自然環境を生かした産業の創出・振興や、ICTを活用した新たな展開に向け、次に掲げる施策を推進します。</p>

① 文化芸術に関する産業の創出・振興

本県には、琉球舞踊、組踊、沖縄音楽、エイサー等の世界に誇れる優れた文化資源があり、これらは地域振興の資源として大きな可能性を秘めていることから、文化芸術の産業化に必要なノウハウをもった人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備に取り組めます。

② 空手を活用した産業の創出・振興

空手については、武道ツーリズムによる観光産業や商工業等関連産業への波及効果が期待できることから、空手を目的とした交流人口を増やし、「空手関連産業」という新たな産業の創出を図るため、国内外の空手愛好家から観光客まで幅広い層を対象に空手を組み込んだ多様で魅力ある体験型観光プログラムや商品等の開発支援に取り組めます。

③ eスポーツを活用した新たな展開

近年、世界的に盛り上がりを見せているeスポーツについては、ICT を活用して幅広い世代の多様な人々が楽しむことができ、新たなビジネスとしての可能性があることから、MICE 関連事業者や関係団体と連携した新たなビジネスモデルの構築の可能性を検討するとともに、国際大会の誘致等を推進します。

① 文化芸術に関する産業の創出・振興

本県には、琉球舞踊、組踊、沖縄音楽、エイサー等の世界に誇れる優れた文化資源があり、これらは地域振興の資源として大きな可能性を秘めていることから、文化芸術の産業化に必要なノウハウをもった人材の育成や、文化芸術に係るビジネスを支える環境の整備に取り組めます。

② 空手を活用した産業の創出・振興

空手については、武道ツーリズムによる観光産業や商工業等関連産業への波及効果が期待できることから、空手を目的とした交流人口を増やし、「空手関連産業」という新たな産業の創出を図るため、国内外の空手愛好家から観光客まで幅広い層を対象に空手を組み込んだ多様で魅力ある体験型観光プログラムや商品等の開発支援に取り組めます。

③ eスポーツを活用した新たな展開

近年、世界的に盛り上がりを見せているeスポーツについては、ICT を活用して幅広い世代の多様な人々が楽しむことができ、新たなビジネスとしての可能性があることから、MICE 関連事業者や関係団体と連携した新たなビジネスモデルの構築の可能性の検討**に取り組み**るとともに、国際大会の誘致等を推進します。

③ eスポーツを活用した新たな展開

近年、世界的に盛り上がりを見せているeスポーツについては、ICT を活用して幅広い世代の多様な人々が楽しむことができ、新たなビジネスとしての可能性があることから、MICE 関連事業者や関係団体と連携した新たなビジネスモデルの構築の可能性**をの検討するに**取り組むとともに、国際大会の誘致等を推進します。

④ 健康サービス産業の振興

本県の伝統的な生活習慣や食文化、並びに温暖な気候や花粉の飛散が少ない環境は、富裕層や「健康・長寿」に高い関心を有する層の高次元のニーズに対応するものであることから、「食」、「リラクゼーション」、「リハビリテーション」など、心身の健康増進や回復につながるコンテンツについて、効能等の科学的根拠を利活用することで高付加価値化を図り、観光客へのプロモーションに取り組み、健康サービス産業の振興につなげます。

④ 健康サービス産業の振興

本県の伝統的な生活習慣や食文化、並びに温暖な気候や花粉の飛散が少ない環境は、富裕層や「健康・長寿」に高い関心を有する層の~~高次元の~~ニーズに対応するものであることから、「食」、「リラクゼーション」、「リハビリテーション」など、心身の健康増進や回復につながるコンテンツについて、効能等の科学的根拠を利活用することで高付加価値化を図り、観光客へのプロモーションに取り組み、健康サービス産業の振興につなげます。

④ 健康サービス産業の振興

本県の伝統的な生活習慣や食文化、並びに温暖な気候や花粉の飛散が少ない環境は、富裕層や「健康・長寿」に高い関心を有する層のニーズに対応するものであることから、「食」、「リラクゼーション」、「リハビリテーション」など、心身の健康増進や回復につながるコンテンツについて、効能等の科学的根拠を利活用することで高付加価値化を図り、観光客へのプロモーションに取り組み、健康サービス産業の振興につなげます。

赤字: 修正、削除

青字: 要約、記載場所の移動

緑字: 用語集へ記載

【修正文対比表】新たな振興計画(中間とりまとめ)

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>3 (10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興</p> <p>ウ 持続可能で高品位な離島観光の振興</p> <p>レスポンシブル・ツーリズムは、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有する‘責任ある観光’であり、持続可能な観光を推進する先進地域の戦略的指針となっています。離島や地域別における目標値を明確にするなど、離島単位、地域単位の戦略の構築が重要であり、観光客数等の目標の設定、一人当たり観光消費額や地元収益の拡大に向けた方策、最適な入域観光客数の設定を含む検討やシミュレーションの実施に加え、持続可能な観光に関する取組についてモニタリングや分析を行うことが重要です。</p> <p>また、サステナブル・ツーリズム、観光地経営等のノウハウを有する人材の育成も重要であり、島の自然・文化を尊重し、価値を共有できる旅行者・観光客の誘客によるレスポンシブル・ツーリズムの推進や海外からの来訪者を含む観光困難者への積極的対応、エビデンスに基づいたターゲットマーケティング等が今後の重要課題です。</p> <p>離島地域の有する比較優位のある独自の自然や文化は、本県の観光産業を牽引する地域資源であること</p>	<p>3 (10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興</p> <p>ウ 持続可能で高品位な質の高い離島観光の振興</p> <p>レスポンシブル・ツーリズムは、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有する‘責任ある観光’であり、持続可能な観光を推進する先進地域の戦略的指針となっています。離島や地域別における目標値を明確にするなど、離島単位、地域単位の戦略の構築が重要であり、観光客数等の目標の設定、一人当たり観光消費額や地元収益の拡大に向けた方策、最適な入域観光客数の設定を含む検討やシミュレーションの実施に加え、持続可能な観光に関する取組についてモニタリングや分析を行うことが重要です。(要約:右記のとおり要約)</p> <p>また、サステナブル・ツーリズム、観光地経営等のノウハウを有する人材の育成も重要であり、島の自然・文化を尊重し、価値を共有できる旅行者・観光客の誘客によるレスポンシブル・ツーリズムの推進や海外からの来訪者を含む観光困難者への積極的対応、エビデンスに基づいたターゲットマーケティング等が今後の重要課題です。(要約:右記のとおり要約)</p> <p>離島地域の有する比較優位のある独自の自然や文化は、本県の観光産業を牽引する地域資源であること</p>	<p>3 (10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興</p> <p>ウ 持続可能で質の高い離島観光の振興</p> <p>離島地域の有する比較優位のある独自の自然や文化は、本県の観光産業を牽引する地域資源であることから、島の自然・文化を尊重し、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有する‘責任ある観光’を推進する必要があります。</p> <p>このため、質の高い着地型観光プログラム等の定着や環境に配慮した持続可能な観光の推進に向けた、次に掲げる施策を推進します。</p>

から、自然環境や住民生活に最大限に配慮し、持続可能な形での振興を展開するため、次に掲げる施策を推進します。

① 着地型観光プログラム等の定着

離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応するため、国内外における離島の認知度向上、新たな旅行市場の開拓、離島の魅力ある資源を生かした観光プログラムの創出に取り組みます。

また、島のそれぞれの個性や魅力を生かした滞在型観光による観光客の増加及び観光客一人当たり消費額の増加に向けた支援に取り組みます。

② 環境に配慮した持続可能な観光の推進

離島地域の自然・生態系、景観・風景、独自の伝統芸能・祭祀、生活文化等が尊重され、それらの価値が旅行者・観光客と共有されるよう、持続可能な観光を推進するためのルールや文化の違い等について観光客に周知するなど、レスポンシブル・ツーリズムの推進に取り組みます。

自然環境等の保全と持続可能で高品位な観光振興の両立に向けては、観光面でのプロモーション支援や

から、自然環境や住民生活に最大限に配慮し、持続可能な形での振興を展開するため、**着地型観光プログラム等の定着や環境に配慮した持続可能な観光の推進に向けた、次に掲げる施策を推進します。(要約:右記のとおり要約)**

① 着地型観光プログラム等の定着

離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応するため、国内外における離島の認知度向上、新たな旅行市場の開拓、離島の魅力ある資源を生かした観光プログラムの創出に取り組みます。

また、**観光客の滞在日数や一人当たり消費額の増加に向け**、島のそれぞれの個性や魅力を生かした滞在型観光による観光客の増加及び観光客一人当たり消費額の増加に向けた支援に取り組みます。や、都市部にはない離島・過疎地域ならではの資源を有効活用した体験型観光の強化に取り組みます。

② 環境に配慮した持続可能な観光の推進

離島地域の自然・生態系、景観・風景、独自の伝統芸能・祭祀、生活文化等が尊重され、それらの価値が旅行者・観光客と共有されるよう、持続可能な観光を推進するためのルールや文化の違い等について観光客に周知するなど、レスポンシブル・ツーリズムの推進に取り組みます。

また、自然環境等の保全と持続可能で**高品位**な観光振興の両立に向けては、観光面でのプロモーション

① 着地型観光プログラム等の定着

離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応するため、国内外における離島の認知度向上、新たな旅行市場の開拓、離島の魅力ある資源を生かした観光プログラムの創出に取り組みます。

また、**観光客の滞在日数や一人当たり消費額の増加に向け**、島のそれぞれの個性や魅力を生かした滞在型観光や、都市部にはない静寂さや光害の影響のない夜空など、離島・過疎地域ならではの資源を有効活用した体験型観光の強化に取り組みます。

② 環境に配慮した持続可能な観光の推進

離島地域の自然・生態系、景観・風景、独自の伝統芸能・祭祀、生活文化等が尊重され、それらの価値が旅行者・観光客と共有されるよう、持続可能な観光を推進するためのルールや文化の違い等について観光客に周知するなど、レスポンシブル・ツーリズムの推進に取り組みます。

また、自然環境等の保全と持続可能な観光振興の両立に向けては、観光面でのプロモーション支援や保

<p>保全利用協定締結の普及による適正利用のルールづくりを推進し、自然環境等に配慮した持続可能な観光地づくりに取り組みます。都市部にはない静寂さや光害の影響のない夜空など、離島・過疎地域が有する比較優位の資源を有効活用し、質の高い体験型観光の強化に取り組みます。</p> <p>また、地域社会の関与、混雑の管理、季節性の低減、収容力の適正把握など、各離島の状況に応じ、環境容量の考えを念頭に置いた受入体制づくりに取り組みます。</p>	<p>支援や保全利用協定締結の普及による適正利用のルールづくりを推進し、自然環境等に配慮した持続可能な観光地づくりに取り組みます。都市部にはない静寂さや光害の影響のない夜空など、離島・過疎地域が有する比較優位の資源を有効活用し、質の高い体験型観光の強化に取り組みます。(移動:①に移動)</p> <p>また、地域社会の関与、混雑の管理、季節性の低減、収容力の適正把握など、各離島の状況に応じ、環境容量の考えを念頭に置いた受入体制づくりに取り組みます。</p>	<p>全利用協定締結の普及による適正利用のルールづくりを推進し、自然環境等に配慮した持続可能な観光地づくりに取り組みます。</p>
---	---	---

赤字:修正、削除

青字:要約、記載場所の移動

緑字:用語集へ記載

【修正文対比表】新たな振興計画（中間とりまとめ）

原文	修正文案(見え消し)	溶け込み文
<p>4 (2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成</p> <p>本基本施策の展開においては、東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、観光・経済・文化など様々な分野における多元的交流の推進を通して、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成を目指します。</p> <p>世界に広がるウチナーネットワークを基軸とする人的ネットワークの更なる発展と次世代への継承を図るとともに、国籍や民族に関係なく、県民も外国人も誰もが安心して暮らせる多文化共生社会を構築し、本県のみならず、我が国及びアジア・太平洋地域の持続的発展にも貢献する観光・経済・文化等の様々な分野での多元的交流の取組を強化・拡充することが課題です。</p> <p>このため、交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展、多文化共生社会の構築及び多元的な交流の推進に取り組みます。</p>	<p>4 (2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成</p>	<p>4 (2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成</p> <p>本基本施策の展開においては、東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、観光・経済・文化など様々な分野における多元的交流の推進を通して、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成を目指します。</p> <p>世界に広がるウチナーネットワークを基軸とする人的ネットワークの更なる発展と次世代への継承を図るとともに、国籍や民族に関係なく、県民も外国人も誰もが安心して暮らせる多文化共生社会を構築し、本県のみならず、我が国及びアジア・太平洋地域の持続的発展にも貢献する観光・経済・文化等の様々な分野での多元的交流の取組を強化・拡充することが課題です。</p> <p>このため、交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展、多文化共生社会の構築及び多元的な交流の推進に取り組みます。</p>

ア 交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展

沖縄が諸外国・地域との交流と連携を深めながら共に発展していくため、世界で活躍している県系人に加えて「沖縄」をキーワードに集う各界各層の関係者を取り込んだ世界に広がるウチナーネットワークの継承と発展に向け、次に掲げる施策を推進します。

① 国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流

国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。

また、国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」)等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS 等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組めます。

ア 交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展

沖縄が諸外国・地域との交流と連携を深めながら共に発展していくため、世界で活躍している県系人に加えて「沖縄」をキーワードに集う各界各層の関係者を取り込んだ世界に広がるウチナーネットワークの継承と発展に向け、次に掲げる施策を推進します。

① 国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流

国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。

また、国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」)等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS 等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組めます。

② 交流の架け橋となる人づくり

児童生徒に対する外国語教育の充実、様々な分野における留学生や研修生の海外派遣など、国際理解の促進と主体的に行動する国際感覚に富む創造性豊かな人材の育成に取り組みます。

また、本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。

イ 多文化共生社会の構築

国籍や民族等の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に暮らせる環境づくりを推進し、国際交流拠点にふさわしい多文化共生社会の形成に向けた、次に掲げる施策を推進します。

① 在住外国人等が住みやすい地域づくり

互いの文化的違いを認め合い、それぞれが共に地域社会を支える主体として、その能力を十分に発揮しながら、イチャリバチョーデーの心で、外国人も県民も安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

また、地域や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語ややさしい日本語による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、医療通訳

イ 多文化共生社会の構築

国籍や民族等の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に暮らせる環境づくりを推進し、国際交流拠点にふさわしい多文化共生社会の形成に向けた、次に掲げる施策を推進します。

① 在住外国人等が住みやすい地域づくり

~~互いの文化的違いを認め合い、それぞれが共に地域社会を支える主体として、その能力を十分に発揮しながら、イチャリバチョーデーの心で、外国人も県民も安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。~~ **(削除：施策展開リード文と内容重複)**

~~また、~~地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語ややさしい日本語による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、

② 交流の架け橋となる人づくり

児童生徒に対する外国語教育の充実、様々な分野における留学生や研修生の海外派遣など、国際理解の促進と主体的に行動する国際感覚に富む創造性豊かな人材の育成に取り組みます。

また、本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。

イ 多文化共生社会の構築

国籍や民族等の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に暮らせる環境づくりを推進し、国際交流拠点にふさわしい多文化共生社会の形成に向けた、次に掲げる施策を推進します。

① 在住外国人等が住みやすい地域づくり

地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語ややさしい日本語による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、医療通訳ボランティアや災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーの心で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。

ボランティアや災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。

② 県民の異文化理解・国際理解の促進

市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催や独立行政法人国際協力機構沖縄センター主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画を通じ、県民が文化・教育等の相互交流を通してお互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。

また、県内に在住する外国人に、国際交流・国際親善、日本・沖縄の社会や文化について日本語で意見を発表する場を提供し、共生社会のあり方を互いに考え合う機会をつくり出すことにより、県民の異文化理解・国際理解の促進に取り組みます。

ウ 多角的な交流の推進

国際交流拠点の形成を図るため、観光・経済・文化等の様々な分野の多角的な交流に資する次に掲げる施策を推進します。

① 観光交流、経済交流等の推進

観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘

沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、医療通訳ボランティアや災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、**イチャリバチョーデーの心で**、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。

② 県民の異文化理解・国際理解の促進

市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催**や、独立行政法人国際協力機構JICA沖縄センター**主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画**を通じ**、県民**が**の文化・教育**等の相互交流等**を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。

ウ 多角的な交流の推進

沖縄の発展に寄与してきた交流ネットワークを活かす国際交流拠点の形成を図るため、観光・経済・文化等の様々な分野の多角的な交流に資する次に掲げる施策を推進します。

① 観光交流、経済交流等の推進

観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘

② 県民の異文化理解・国際理解の促進

市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、**JICA**沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民**の**文化・教育**の交流等**を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。

また、県内に在住する外国人に、国際交流・国際親善、日本・沖縄の社会や文化について日本語で意見を発表する場を提供し、共生社会のあり方を互いに考え合う機会をつくり出すことにより、県民の異文化理解・国際理解の促進に取り組みます。

ウ 多角的な交流の推進

沖縄の発展に寄与してきた交流ネットワークを活かす国際交流拠点の形成を図るため、観光・経済・文化等の様々な分野の多角的な交流に資する次に掲げる施策を推進します。

① 観光交流、経済交流等の推進

観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘

客活動を推進し、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。

東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等の交流を促進し、また、海外との新たなMOU(連携覚書)締結など地域間交流を促進します。

また、経済交流については、県内企業と海外企業との経済連携サポート支援を強化するとともに、県海外事務所、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)沖縄貿易情報センター等と連携した国際的なビジネス展開に取り組みます。

② 沖縄の文化を通じた交流

文化は交流により生まれ、互いの文化を理解し合うことにより発展するため、国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組を強化します。

客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。

~~東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等の交流を促進し、また、海外との新たなMOU(連携覚書)締結など地域間交流を促進します。(移動:最終段落に移動)~~

また、経済交流については、県内企業と海外企業との経済連携サポート支援を強化するとともに、県海外事務所、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)沖縄貿易情報センター等と連携した国際的なビジネス展開に取り組みます。

さらに、東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU(連携覚書)締結など地域間交流を促進します。

② 沖縄の文化を通じた交流

文化は交流により生まれ、互いの文化を理解し合うことにより発展するため、国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組を強化します。

客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。

また、経済交流については、県内企業と海外企業との経済連携サポート支援を強化するとともに、県海外事務所、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)沖縄貿易情報センター等と連携した国際的なビジネス展開に取り組みます。

さらに、東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU(連携覚書)締結など地域間交流を促進します。

② 沖縄の文化を通じた交流

文化は交流により生まれ、互いの文化を理解し合うことにより発展するため、国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組を強化します。

<p>また、県民が沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進し、沖縄の文化の継承と発展に取り組みます。</p> <p>さらに、国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外の文化交流に取り組みます。</p>	<p>また、県民が沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進し、沖縄の文化の継承と発展に取り組みます。</p> <p>さらに、国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。</p>	<p>また、県民が沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進し、沖縄の文化の継承と発展に取り組みます。</p> <p>さらに、国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。</p>
--	---	---